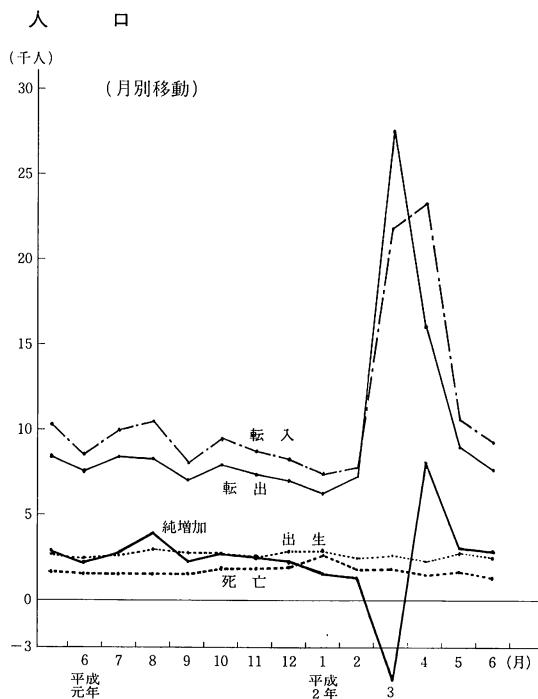
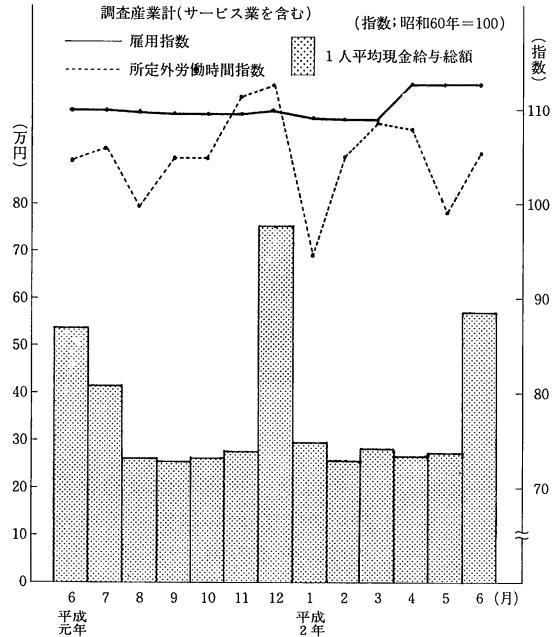


●今月の主な動き

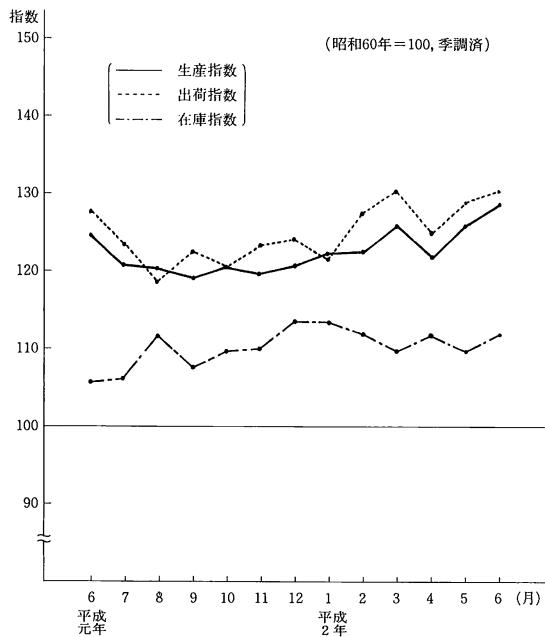
今月の主な動き



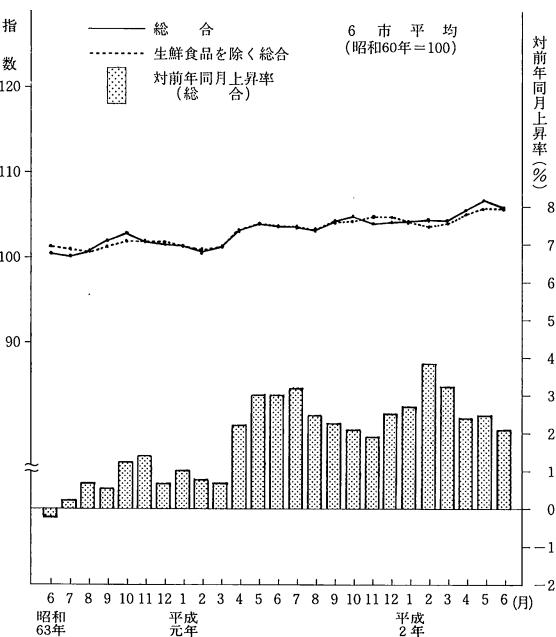
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指標(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



■ 今月の主な動き●

主な動きのあらまし……………企画部統計課

■ 人口(7月1日)

本県の人口は、6月中に2,581人増加し、7月1日現在で2,843,988人(男1,417,991人、女1,425,997人)となった。

内訳は、自然動態で977人(出生2,334人、死亡1,357人)増加し、社会動態で1,604人(転入9,141人、転出7,537人)増加した。対前年同月と比べると26,162人(0.93%)の増加であ

る。

市町村別では、増加が16市49町村、減少が4市17町村、増減なしが2村である。

世帯数についても6月中に1,597世帯増加し829,209世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用(6月)

1. 平均賃金の推移

6月の現金給与総額は、本月が賞与等の支給月であるため、調査産業計で572,129円、前年同月比7.0%増(前月は5.2%増)と前月に比べて大きく変動している。このうちきまって支給する給与は271,498円、前年同月比4.9%増(前月は3.8%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は240,095円で、前年同月比5.0%増(前月は4.3%増)であり、超過労働給与は31,403円で、前年同月比4.1%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は前年同月比5.2%

%増であった。

2. 労働時間

6月の総実労働時間は、調査産業計で185.0時間、前年同月比0.2%減(前月は2.6%減)であった。このうち所定内労働時間は166.2時間で、前年同月比0.3%減(前月は2.6%減)であった。また、所定外労働時間は18.8時間、前年同月比はもちあい(前月は2.2%減)であった。

3. 雇用の動き

6月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比1.4%増(前月は1.4%増)であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(6月分)

本県における平成2年6月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が128.4、出荷が130.4、在庫が111.8で、前月比は、生産が1.9%の上昇、出荷が1.6%の上昇、在庫が1.7%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が3.1%の上昇、出荷が2.5%の上昇、在庫が5.9%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、電気機械工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、化学工業、非鉄金属工業、食料品・たばこ工業等が低下した。出荷では、鉱業、一般機械工業、電気機械工業等が上昇し、化学工業、食料品・

たばこ工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、石油・石炭製品工業、化学工業等が上昇し、鉱業、電気機械工業、輸送機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、非耐久消費財、鉱工業用生産財が低下した。出荷では、耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、非耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、資本財等が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財が低下した。

■ 消費者物価指数(6月)

平成2年6月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.8(昭和60年=100)となり、前月比△0.7%の下落、前年同月比2.2%の上昇となった。

今月上がった主な費目……果物14.2%、肉類2.0%、保険医療用品・器具1.8%、乳卵類1.5%

今月下旬がった主な費目……野菜・海草△15.1%、魚介類△4.7%、油脂・調味料△2.1%、家庭用耐久財△1.5%

生鮮食品を除く総合は105.7となり、前月比0.0%、前年同月比1.9%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.8	△0.7	2.2	保健 医療	106.0	0.4	0.1
食 料	104.4	△1.6	2.1	交通 通信	102.5	△0.1	0.7
住 居	115.5	0.1	3.6	教 育	124.5	0.0	6.6
光熱・水道	89.7	0.4	2.6	教 育 娯 楽	108.8	△1.1	2.4
家具・家事用品	99.9	△0.3	△0.2	諸 雑 費	105.9	△0.1	1.1
被服及び履物	111.6	0.0	3.5	生鮮食品を除く総合	105.7	0.0	1.9